

湯たびの会の報告書

日時：令和7年8月6日（水）～8月7日（木）

秘湯の宿：信州小谷温泉 大湯元 山田旅館

今回は、妙高戸隠連山国立公園の標高850mの山腹に達つ弘治元年（1555年）に川中島合戦の折り、武田信玄の家臣によって発見された歴史ある温泉地であり、楽しみにしていた湯たびの旅であります。

当日の集合は、新百合ヶ丘駅 7時15分 7時21分発の小田急線急行に乗り 町田経由、横浜線で、八王子駅に8時15分着 この駅であずさ5号（8時34分発）に乗り、終点の白馬駅まで、この駅で乗り換え、目的の南小谷駅に12時05分着、ここより村営バスで40分、バス停、小谷温泉山田旅館前に12時51分到着、バス停より3分で今日の宿、山田旅館に到着



今回の旅は、温泉にゆっくりと浸かるのんびり旅を、目的にしているのですがチェックインがこんなに早くても、部屋には、布団が敷いてあり、なかなかいいスタートである。食事の時間も、夕食は17:30分、朝食は、7時30分

お部屋でお茶と甘い物を頂いて、早速内風呂に入湯、ここの泉質はナトリウム炭酸水素温泉（重曹泉）、温泉の状態は自然湧出・完全掛け流しで温泉としてはすばらしい状態である。

内風呂に入湯後、しばらく休憩室でお休みした後、小谷温泉山田資料館に行く（安土桃山から江戸時代までの古文書や湯宿として受け継がれた品々山里の暮らしを支えた民具など多数を展示）この宿は深田久弥の日本百名山に選出された雨飾山の登山口にもなっており、江戸期建築の本館を含む六棟は国の登録有形文化財に指定されています。

次に外湯の展望風呂に入湯、大変山々の景色が素晴らしい眺めで露天風呂としては、最高の評価だと思います。



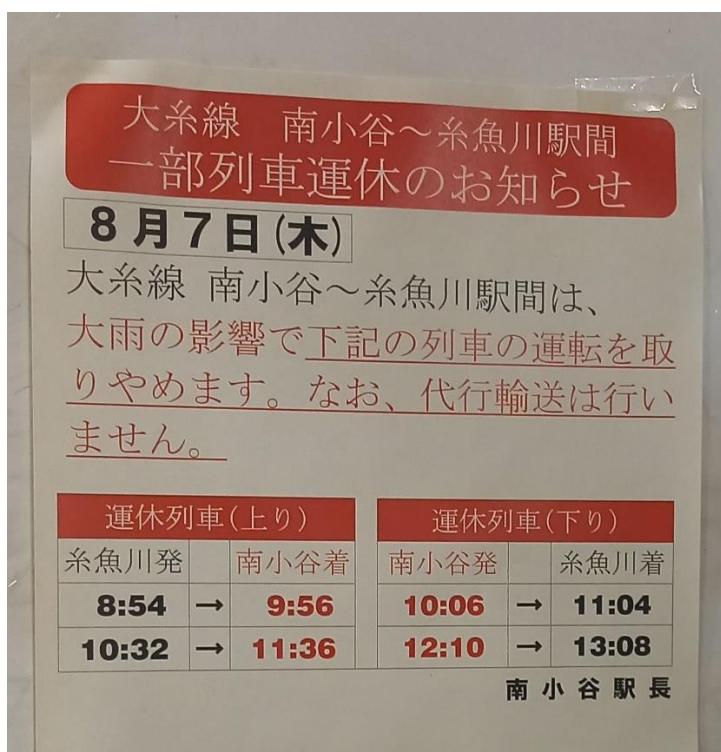
午後 5 時半からは、夕食の時間で料理も大変良かつたし、特に宿が連携している日本酒（冷酒）が口当たり良く美味しく頂きました。



翌日は朝早くより内風呂に入るも、大変な雨になっており朝 7 時半に朝食を頂いて、勘定を済ませていると、宿の女将さんより、大糸線が白馬駅より糸魚川駅迄線路が水に浸かって不通になっていると聞き、当分の間は解除にならないだろうと、今まで湯たびで経験したことのない状態になりました。



村営バスも不通かと思いきや、こちらは動いているとの事、何はともあれ宿から、南小谷駅迄、村営バスに乗ることにして、9時20分発のバスに乗車、南小谷駅に 10 時到着 本来なら 10：16 分発の大糸線に乗る予定が、電車は動いておらず、どうなることになるか、



大糸線の南小谷駅の駅員さんの指示にしたがって、10時16分にマイクロタクシーが当駅を出発、不通の区間マイクロタクシーが電車と同じ時間で運転するとのことで、キップを持っていたら無料との事、JRもいいところがあることがわかって安心しました。南小谷駅の次の駅は千国駅で運転手さんが駅まで迎えに行き、一人の叔母さんを乗せて出発、次の駅は白馬大池で駅に迎えに行くも待っている人がいないので出発、次の駅は信濃森上駅でここでは一人乗せ次は白馬駅で、電車と同じ時間に到着しました。

ここからがまた大変なことになっており、白馬駅～松本駅は不通ではないのですが、電車の都合がつかず結局は12時32分松本駅着の予定が、13時10分に着き、40分遅れ、松本駅を13時10分発のあづさ30号に乗り遅れ松本駅で特急指定券の取り直しをしてあづさ38号松本駅発14時50分に決定

1時間半の時間が出来たので、松本駅構内の食事処でゆっくりと、昼食の時間が取れました。アクシデントがあると、色々なことを調整することなりこれも勉強かと思うようになりました。

代行タクシーで千国から乗ってきた叔母さんと話したことで地元住民しか知らないことがわかりました。大糸線は松本駅～白馬までは、不通になることはほとんどないが、白馬～糸井川は雨や雪が少し多いと直ぐに不通になりJRも改善する意思がないそうです。

松本駅をあづさ38号(14時50分発)に乗り、16時49分に八王子駅に到着、八王子駅発17時8分発で町田へ町田より小田急線で新百合ヶ丘駅へ全員無事に着いたことで今回の「湯たび」が終わりました。
ありがとうございました。

次回は宮本さんが幹事で、11月25日から新潟県燕温泉権太館、長野県崖の湯温泉を訪れることにした。

(報告者 飯塚)